

## 華鐘グループのお知らせ

### 古林総経理、上海市外国投資促進中心十周年座談会に参加

12月27日は上海市外国投資促進中心(「FID」と略称されている)成立十周年の記念日でした。

華鐘グループの古林恒雄総経理は、上海市外国投資促進中心、上海市対外投資促進中心が発足以来の高級顧問に就任しており、その顧問歴は既に10年となりましたが、先日FIDが開催したその十周年記念の高級顧問座談会でコンサルティング企業の立場から意見を発表しました。

古林総経理はFID成立十周年におけるその実績にお祝いの言葉を述べた事に加えて、現在のコンサルティングサービスの使命は、単に「企業誘致」のみならず、如何にして外国企業の中国へ進出後の実効あるサービスを良好に提供するかであると強調しました。コンサルティング会社はサービス業務としてはFIDとよく似ており、共に上海の日本企業に政策的なガイドと支援を提供していますので、今後はコンサルティング業界とFIDの相互間で、情報の提供や交流を更に深めて、外商投資企業の発展において遭遇する色々な問題を迅速且つ良好に解決したいとの希望を述べました。

今後とも、華鐘コンサルタントグループは積極的に上海市外国投資促進中心の資源を活用して、日本企業の中国投資や対外投資に専門性の高いコンサルティングサービスの提供に努力致します。



FIDからの古林総経理への高級顧問招聘書



FID 高級顧問座談会

### 上海市外国投資促進中心 (FID) の概要



東南アジア金融危機の衝撃や国の世界貿易機関(WTO)加盟後の数々の試練を順調に対処する為、上海市人民政は1999年12月、上海市外国投資促進中心(FID)を設立し、翌年の2000年には新たに上海市対外投資促進中心を設立しました。この時から、FIDは上海市の双方向投資促進のダブル分担が開始されたのです。

上海市商務委員会の市レベルの投資促進機関として、FIDは上海の投資環境の推薦紹介、投資コンサルティングサービスの提供、プロジェクトの追跡と促進、海外企業誘致ネットワーク構築等の分野において積極的な役割を發揮してきました。

FID成立後、研究機関の専門家、学者、上海市華僑聯合会・上海市華僑商会のトップ、知名コンサルティング会社の董事長・総経理等の人物をその高級顧問として招聘しており、上海市の企業誘致投資促進における提案・進言を行い、FIDの双方向投資業務の指導役を担う役割を果たすことが期待されています。